活き活きと輝き、誇れるまちの情報誌「広報ゆのまえ」

ゆのまえ 5

2015
No.407

広報
ゆのまえ

たか～い、こいのぼり

特集　春の全国交通安全運動

「つなぐ、ゼロのバトン」

Pick Up Topics

全国での表彰に笑顔の星原代表

下村婦人会が全国で特別賞

第24回食アメニティコンテスト

第24回食アメニティコンテストが3月25日に東京都中央区の馬事畜産会館で開かれ、全国から推薦された30団体の中から、下村婦人会市房漬加工組合（星原陽子代表）が審査員特別賞を受賞しました。

同コンテストは地域の特産物を使った生産活動で、地域づくりに貢献している団体や個人を表彰するもので（一財）農村開発企画委員会が主催。食文化保存や食育の推進、地元食材を使った商品開発など基準に、全国30の団体が審査されました。

下村婦人会は地域の女性たちが65年の長い間、地域の特産物を使って商品開発や販売をしていることが評価されました。星原代表は「何もなかったところからのスタートでしたが、付加価値をつけながら65年間やってきました。山北幸前代表の思いをこれからも絶やさずに受け継いでいきたいと思います」と話していました。

特別賞は下村婦人会を合わせて3団体が受賞。ほかにも農家民泊やグリーンツーリズム団体などが、農林水産大臣賞や同省農村振興局長賞を受賞しています。

広報 ゆのまえ
2015.5 No.407

CONTENTS 目次

〈５月の表紙〉

5月5日はこどもの日。子どもが無事に大きく育つためにお祝いをする日です。湯前保育園の園児たちはこいのぼりの飾りに大はしゃぎ。「その元気がずっと続きますように」と願わんばかりに、飾られたこいのぼりは風に吹かれて元気に空を泳いでいました。

特集 春の全国交通安全運動

つなぐ、ゼロのバトン

新しい生活がスタートしてから1カ月が過ぎました。通学や通勤。新しい道に慣れてきた人も多いのではないでしょうか。慣れてきたころにやってくるのが「危険」です。交通事故が起きやすいこの時期、あらためて、交通安全のことを考えてみませんか？

ルール・マナー＋思いやり

思いやりの合図「てまえ運動」

手で合図をし、事故を防ぐ運動です。ドライバーは横断しそうな人がいたら、横断歩道の手前で一時停止。手を前に出して、歩く人を先に横断させましょう。歩行者は、横断歩道の手前で手を前に出して、ドライバーに横断の合図をしましょう。

思いやりで事故を防ぐ

子どもだけでなく大人も手を上げて横断

春と秋は特に注意

春は新しい職場や学校に通い、不慣れな道を通行し、交通事故も多くなりがちな時期です。秋は日の暮れが早くなり、夕方から夜にかけて、視界が悪くなります。毎年事故を防ぐために、春と秋に全国で交通安全運動が行われています。ことしの春の全国交通安全運動は5月11日～20日。運動は自転車を安全に使うこと、すべての座席のシートベルトとチャイルドシートを正しく着けること、飲酒運転を無くすことなどを目標に警察署や交通安全の各団体が活動をしています。

事故数は大きくマイナス、死亡者数は変わらず

平成26年度、熊本県内では人身交通事故が7，584件起きています。前年度より約1，000件少なく、負傷した人も1，500人ほど少ない9，650人になっています。しかし、死亡者は76人で昨年の82人とほぼ横ばい。うち53人が65歳以上の高齢者で、車を運転中に25人、歩いているときに25人が亡くなっています。県内ではほかにも飲酒運転で5人、スピード違反で5人が亡くなる悲惨な事故が起きています。

7年連続死亡者ゼロ

多良木警察署管内（あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村）では昨年度50件の人身事故が起きています。管内では飲酒運転の事故は少なく、高齢者の事故、交差点や、夜間の事故が多く起きていることが特徴です。平成25年度の62件から12件減っていますが、あさぎり町と多良木町では、4人が交通事故で亡くなっています。

昨年度、湯前町で起きた人身事故はわずかに1件。町は平成20年から7年連続で死亡者ゼロが続いている、人身事故の少ない町です。

過去30年の熊本県の交通事故

平成16年をピークにいずれも減っているが、近年死者数は、ほぼ変わっていない

多良木警察署管内の交通事故

管内	発生件数	死者数（人）	負傷者数（人）
H25	62	1	83
H26	50	4	57
うち湯前	発生件数	死者数（人）	負傷者数（人）
H19	9	1	8
H20	5	0	6
H21	8	0	8
H22	7	0	7
H23	4	0	4
H24	8	0	10
H25	4	0	4
H26	1	0	2

管内でも湯前は人身事故の少ない町だが、まだまだ注意が必要

守れていますか？ 交通安全のルールやマナー

自転車は左側を通行、駐車場では先にバックで駐車をする、助手席の人はドライバーが見にくいところを確認する。ほかにもたくさんのルールやマナーがあります。どれも「当たり前」と分かっていても、ついつい忘れがちなものです。「当たり前」ができていれば事故は起きにくくなります。

明るい服装に反射材

自転車は左側

バックで駐車

助手席の人も確認

事前の準備で事故を防ぎましょう

湯前は人身事故が少ない町ですが、車を物にぶつけてしまう物損事故が多くなっています。物損事故は昨年多良木警察署管内で351件あり、うち46件が湯前です。ことし1月から3月中に29件、3月だけですでに11件の物損事故が起きています。駐車場などでバックをするときやよそ見運転でガードレールにぶつける、縁石に乗り上げるなどが特徴です。特に夜は周りが見にくく、事故が多発しています。

車を駐車場から安全に出すために、先にバックで駐車をすることをオススメします。朝の通勤時間も交通事故が起きやすい時間帯です。体調を万全に整え、時間に余裕をもって運転してください。

湯前では、チャイルドシートをしていない車を時々見かけます。大人用のシートベルトでは小さな子どもの命を守ることができません。大切な子どもの命を守るためにもチャイルドシートは必ず着けてください。

星原（ほしはら） 政典（まさふみ） 巡査長
（32＝中里1）
プロフィール：宇城市出身。御船警察署に5年半勤務し、現在多良木警察署湯前駐在所に勤務。

いつも通る道
いつもの行動
本当に安全？

橋田(はしだ) 實子(じつこ)さん
（71＝下里）
プロフィル：平成14年から湯前町地域婦人会長と交通安全母の会会長。小学生を対象にした自転車教室を約20年開催している。

車や自転車を使う人や歩く人、いつも通っている道がいつもと同じ状況だとは限りません。小学生を対象に自転車教室を開き、みずからも自転車をよく使うという橋田さんに、自転車の交通状況をインタビューしました。

INTERVIEW

　最近、私が知っているだけでも3件の自転車事故がありました。傘差しや横に広がっての通行。私自身、夜に「いつも通っている道だから」と自転車で通行して、怪我をしました。ちょっとした不注意や油断が事故につながっています。

　自転車は免許もいらず、誰でも乗ることができますが、気持ちまで気軽になってはいけません。万が一、人を傷つけてしまったときには何千万円という賠償金を背負う可能性もあり、他人も自分も傷ついてしまいます。たかが自転車と思わず、正しいルールを守って、乗ってください。私たちも自転車教室などで子どもたちにルールをしっかりと教えていきたいと思います。

　交通安全は家庭から。いまは母親も大きな車を運転する時代です。子どもを含めて、家庭でも交通ルールを話し合ってほしいと思います。

交通安全の活動

「地域の安全は地域で守る」。町では安全に交通するための活動が続けられています。交通安全母の会や民生児童委員は湯前小学校で自転車教室を開催。24人の交通指導委員は朝夕の交通量の多い時間に交差点に立ち、町民の安全を守っています。保育園の遠足前には園児が歩道の渡り方を学んでいます。歩く速度を計る機械を使って、安全意識を高める人もいて、町にはみずから交通安全に気をつける人たちがたくさんいます。

①遠足前に横断歩道の渡り方を勉強（湯前保育園）
②自分を知るために歩く速度を計る人
③通学中の安全を守る交通指導委員
④毎年春に開かれる小学生の自転車教室

自分の命を守るのは自分自身

車の陰に隠れてバイクが飛び出すかもしれない

きちんと止まって、見て、確認すると事故が防げる

　車や自転車はとても便利な乗り物で、私たちの生活に無くてはならないものです。普段からよく使っているからこそ「これくらい大丈夫だろう」と油断してしまいがちです。

　交通事故はいつ起こるか分かりません。人の命を奪ったり、傷つけたり、とても恐ろしいものです。被害を受けた人も傷つけられた人も人生が変わってしまいます。

　自分の命は自分で守らなければなりません。後悔する前に普段の行動をもう一回確認してみましょう。「止まる」、「見る」、「待つ」。きっと大きな事故を防ぐことができるはずです。死亡者ゼロ、そして事故のないまちを目指して―。

特集　春の全国交通安全運動
「つなぐ、ゼロのバトン」－完－

見事な連携で勝利をつかんだ第２分団第１部

平成27年度湯前町消防団入退団式・ポンプ操法大会

第３分団第３部Ａ（野中田）第２分団第１部（上下染田）V

平成27年度湯前町消防団辞令交付式・ポンプ操法大会は４月５日、B&G海洋センターであり、15部・16チームが出場。ポンプ操法大会では小型ポンプの部で第３分団第３部Ａ（野中田）、自動車ポンプの部で第２分団第１部（上下染田）が優勝しました。

辞令交付式では退団者12人と新入団員12人に辞令が交付され、新入団員を代表して第１分団第１部（上里）の蔵座祐平団員（19＝上里１）が力強い声で宣誓文を読み上げました。20年以上勤続した退団者３人と土屋登志久新団長（53＝馬場）には表彰状が贈られました。

被表彰者、競技の結果などは次のとおり。

〈退団者〉※途中退団含む

○本部　石原　亮
〃　高橋杏奈
〃　勘米良美香
○第１分団第１部　古市拓也
〃　豊永勝大
〃　下川真宏
○第１分団第２部　庄籠彰文
〃　桑原和輝
○第２分団第１部　西　貴則
○第３分団第１部　大平正浩
〃　岩本幸一
○第３分団第２部　森山雅也
○第３分団第３部　堤田匡詞
○第４分団第３部　森下英史

〈入団者〉※途中入団含む

○第１分団第１部　蔵座祐平
〃　西　公文
○第１分団第２部　姫野翔太
〃　工藤正明
〃　高木潤人
〃　木村和徳
○第２分団第１部　沖松泰豪
○第３分団第１部　溝辺　剛
〃　恒松考平
○第３分団第３部　東　伸豪
〃　藤崎正人
〃　溝下寛明
〃　山川隼太
○第４分団第１部　宮鹿野達也
○第４分団第２部　山浦隆宏
○第４分団第３部　野田翔平

〈表彰〉

▽日本消防協会定例表彰
○本部　土屋登志久

▽永年勤続功労者表彰
（勤続20年以上の退職団員）
○本部　石原　亮
○第１分団第２部　庄籠彰文
○第３分団第１部　大平正浩

〈ポンプ操法大会〉

▽小型ポンプの部
優勝　第３分団第３部Ａ（野中田）
２位　第４分団第１部（上村）
３位　第４分団第３部（馬場）

▽ポンプ車の部
優勝　第２分団第１部（上下染田）

▽敢闘賞
第４分団第１部（上村）
※前回７位から今回準優勝

①火点を目指して全力疾走
②いざ出陣
③道具の確認は丁寧に
④自動車にホースを連結
⑤２人の連携がカギ
⑥勢いよく放射
⑦躍進賞を受賞した第４分団第２部

表彰を受賞した土屋新団長

夢、希望を胸に新生活スタート

平成27年度湯前小学校の入学式が4月9日、同校体育館であり、元気な24人の新入生が入学しました。

湯前小学校入学式

はにかみながら入場する新入生たち

保護者はカメラやビデオを持ち、在校生は拍手をして、新入生を迎えました。新入生は少し照れくさそうに、はにかみながら会場へ入場。担任の教師から一人ずつ名前を呼ばれると、大きな声で返事をしていました。西浦大蔵校長は「教師も先輩たちもみんなの入学を楽しみにしていた。元気なあいさつ、先生の話を良く聞くこと、車に気をつけることの三つの約束を守って元気に学校へ通ってほしい」とあいさつ。5、6年生は歌で新入生を歓迎しました。

新入生は式典後に教室へ移動しました。初めての教室や友達。何もかもが新しい新入生は新生活への希望に満ちた表情をしていました。

新しいものにワクワク

湯前中学校入学式

第69回湯前中学校入学式は4月9日、同校体育館で開かれ、30人の新入生は新しい制服に袖を通して、3年間の学校生活をスタートさせました。

新入生は緊張した表情で入場し、席につきました。呼名では姿勢正しく立ったり、大きな声で返事をしたりして、成長ぶりを保護者に見せていました。

高田哲弘校長は「これからの3年間は一人の社会人として生きる準備期間。自分の可能性を信じて努力をすること。先輩たちとすばらしい湯前中青春物語をつくってほしい」とあいさつしました。

福田慎之介生徒会長（同校3年）が「体育祭や文化祭はきついこともあるけれど、頑張った分だけ楽しくなる。みんなで日本一の学校を目指そう」と新入生を歓迎しました。新入生を代表して井上貴斗さん（中里2）が「湯中の生徒として誇りを持ち、『目標を達成できた』と納得できる学校生活を送ります」と誓いの言葉を述べました。

たくさんの「頑張る」を誓った井上さん

134台のキャンピングカーが湯前に集結

2015プラムフィールド・オーナーズ・ミーティングin湯前

各地から134台が集結

2015プラムフィールド・オーナーズ・ミーティングin湯前は4月11、12日にゆのまえグリーンパレス芝生広場一帯であり、九州各地、遠くは兵庫県などからキャンピングカー134台、約400人のオーナーたちが集まりました。

湯前名物に挑戦する参加者

キャンピングカーを愛する人たちが集まって交流をするイベントで、キャンピングカーの販売などを手掛ける株式会社プラムフィールド（佐賀県鳥栖市）が主催。町での開催は4回目。昼の部のステージでは、おっぱい早飲み競争（ほ乳瓶での牛乳早飲み）や大声大会、会場にはスミ作りやパン作り、オリジナルステッカー作りのコーナーがありました。ことしは蓑谷ため池でのカヌー体験もあり、参加者はたくさんの体験を楽しんでいました。

参加した森幸枝さん（73＝福岡県）は「（同イベントへの参加は）各県にいるキャンプ仲間と4回すべて参加しています。町の人も優しく、たけのこや卵を焼いたり、たくさんの体験ができるので、毎回楽しみです」と話していました。夜の部ではローストビーフ、焼きそばなどの屋台や、「チャーリー西」の大道芸、「デルフィオーレ」のゴスペルライブでにぎわっていました。

松ぼっくりの炭作りに挑戦

初のカヌー体験を楽しむ親子

毎年大好評のくるくる巻きパン作り

新年度は『骨格予算』産業振興など『ゆのまえ創生』予算はこれから審議

平成27年第2回湯前町議会定例会は、3月10日から18日までの会期で開かれ、一般質問や平成27年度当初予算など40議案の審議を行いました。

少子化対策について　味岡　恭 議員

質問 子育て支援について

答弁 鶴田町長

若者が将来に希望や夢を持ち、魅力あるまちづくりをしていかなければならない。金銭給付の支援をすれば子どもの数が多くなるか、子育てがしやすくなるかも含めて十分に協議しなければならない。

質問 結婚対策について

答弁 鶴田町長

各地域が生き残りをかけた政策を提案していかなければならない。日本や経済を支えているのは、まさに地方の地域力だと自負している。結婚対策は果敢に挑戦をしていきたい。

観光まちづくりについて　椎葉　弘樹 議員

質問 観光客の受入れ体制について

答弁 鶴田町長

今後、観光マーケティング、市場調査を含めた活動をやるべきではないか考える。観光物産協会を二人体制にし、観光まで手を回していきたい。行政は何をやるべきなのか、役割を明確にし、慎重に協議を重ねていきたい。

質問 観光案内人について

答弁 鶴田町長

一番重要なことは、町の観光施設と、地元での消費の結びつきだと考える。観光案内人も必要だが、継続していくのであれば、利害関係者が協力しながら、消費に結びつけていくことも重要な要素だと考える。

質問 観光消費の拡大について

答弁 鶴田町長

集客と同時に進めていかなければならない。必要なものが物販所であるとすれば、しっかりとした課題や目標を民間事業体と一緒になって協議をしていかなければならない。福祉、産業振興、観光の各分野を結びつけながら、しっかりと進めていきたい。

質問 観光振興計画について

答弁 鶴田町長

行政の提案や計画は、実現できない場合も多かったが、地域資源の活用や観光案内人も含めた仕組みを文章に示しながら、地域の皆さまと計画書を作っていくことが必要だと考える。

道路整備について　金子　光喜 議員

質問 スマートインターチェンジ建設に伴う道路網整備の必要性について

答弁 鶴田町長

生活道路と産業道路は、形態も様式も違う。この地域にあっては産業用で、ある程度距離を走る車両の通行を視野に入れた道路も必要ではないかと考える。湯前から人吉まで10～20分で行けるような道路があればという考えはある。誘致企業の活動をしたとき、インターチェンジから40～50分かかることが、門前払いになる大きな要因ではないかと考える。

観光振興について

質問 交流人口増加に向けた取り組みについて

答弁 鶴田町長

ICTの利活用で、観光、物販、福祉、学校教育などフルに活用できるように組み立て、各課を越えた取り組みをしていきたい。町民の皆さまと一緒に取り組みに力を注いでいきたい。

答弁 長谷副町長

KUMA-1、KUMA-2を利活用する場合は修理をした後になる。例えば図書館機能、カフェテラスなど多目的な利活用ができないかを水戸岡先生の意見も踏まえて検討を重ねている。かなりの事業費がかかる。

◎平成27年度一般会計歳出当初予算　※主なもの

項目	金額
社会保障・税番号制度(マイナンバー)[※1]対応システム改修	13,176千円
湯前町防災マップ作成	918千円
湯前町振興計画作成	394千円
ICT利活用協議会	7,782千円
臨時福祉給付金	10,733千円
子育て世帯臨時特例給付金	1,500千円
日本型直接支払制度(多面的機能支払)補助金	19,910千円
湯前町木材需要拡大促進事業補助金	3,000千円
湯前まんが図書館管理運営	700千円
観光案内人養成講座	935千円
町観光物産協会補助金	5,200千円
公認奥球磨ロードレース大会負担金	2,550千円
学校給食共同調理場建設工事	存目

◎平成26年度一般会計歳出補正予算　※主なもの

項目	金額
経営体育成支援事業補助金	9,056千円
プレミアム付商品券発行事業	3,700千円
ゆのまえ得々宿泊旅行券事業	1,387千円
子育て世帯向け地域振興券交付事業	4,800千円
在宅介護世帯向地域振興券交付事業	1,800千円
子育て世帯向けプレミアム付商品券購入助成金	370千円
総合戦略策定基本調査	7,500千円
[※2]郷育推進事業	11,200千円
[※3]情報発信事業	10,700千円

委員会報告

総務常任委員会

12月　議会におけるICT(タブレット)の活用(第2回)
2月　徴収関係
3月　湯前町ICT利活用協議会

経済建設委員会

12月　日本型直接支払制度・農業委員会事業内容
1月　橋梁点検の結果
3月　鳥獣害対策

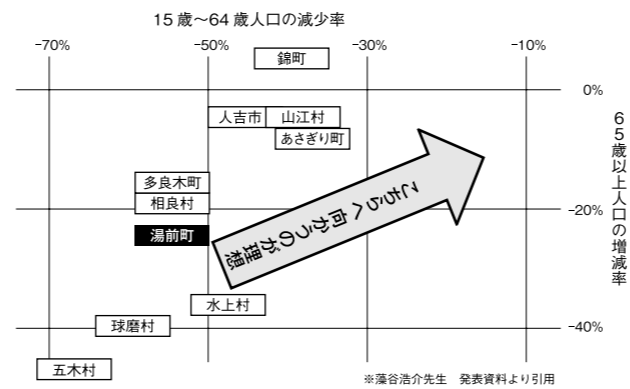
厚生文教委員会

12月　予防接種
2月　生涯学習教室
3月　湯前保育園の現状

トピックス

1．今こそ里山資本主義、人吉球磨の未来に向けて

2月25日、須恵文化ホールで日本総合研究所の藻谷浩介氏を講師に招き、平成26年度球磨郡町村議会議員研修会が開催されました。「地域内でお金を回せば地域は潤う」、お金を稼ぐことよりも使うことを考えたほうがよいことを学びました。

① 安さでは勝負せず高品質の商品で外貨を得る
② お金と遊休資産を地域内で回す
③ 省エネルギー＋自然エネルギー利用でエネルギー代を削減

例えば、人吉球磨住民一人当たりの年間モノ消費は80万円程度。その1㌫(8千円)を地域内産の消費にすれば、プラス7億円が地元経済に回る。

給与＋福利厚生が350万円／人の雇用を200人分増やせる。

これってなに⁉（用語解説）

※骨格予算
町長選挙を控えた自治体が、最低限必要な経費を盛り込んで組む予算のこと。

※1 社会保障・税番号制度(マイナンバー)
住民一人に一つの番号をつけて、社会保障、税、災害対策で情報を管理する。各機関の個人の情報を一括して扱うために使われる。平成27年10月から通知され、平成28年1月からマイナンバーの利用が開始される予定。

※総合戦略策定基本調査
まち・ひと・しごと創生法から、「湯前町人口ビジョン」、「湯前町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少の対策を検討する。

※2 郷育推進事業
ICTと漫画を使い、学校教育で、「まんがの町ゆのまえ」をPRする。

※3 情報発信事業とは
観光客向けの公衆無線LAN構築や、産官学のワークショップでの観光案内アプリやコンテンツ開発への取り組みなど。スマートフォンやSNSの活用講座も開催し、住民の情報発信能力を高める。

編集後記

地方創生に向けて産業力を強化するためには、「地域内でお金を流通するしくみ」をつくり、町内消費を喚起することが重要です。これからは自治体の生き残りをかけた住民総力戦です。皆さんで知恵を出し合い、行動し、魅力あるまちづくりを推進していきましょう。　（編集委員　椎葉 弘樹　金子 光喜）

3年目初日で１万人を突破
湯前まんが図書館、ことしも開館

１万人目の記念品を受け取る中島さん（左）

湯前駅となりのふれあい交流センター「湯～とぴあ」にある湯前まんが図書館がことしも開館し、初日の４月４日、正午すぎに通算で１万人目の来館者が訪れました。

まんが図書館は町観光物産協会（谷口幸範会長）が運営し、平成25年6月にオープン。尾田栄一郎さんの「ワンピース」や井上雄彦さんの「バガボンド」など、熊本県出身の有名な漫画家の作品を取り入れながら、約6,000冊でスタートしました。２年間で本の入れ替えをしながら、現在は約7,000冊が無料で楽しめる漫画スポットになっています。開館は土曜日、日曜日、祝日、夏休み期間の午前９時から午後５時で、子どもだけでなく、田園シンフォニーの乗客や観光客、町内外の大人たちもたくさん立ち寄っています。

昨年は町内外から4,511人が同施設を訪れました。1万人目の来場者はくま川鉄道の観光列車「田園シンフォニー」に乗客してきた中島崇さん（38＝長崎県長崎市）。中島さんは家族３人で来館し、「SL人吉に乗る合間に田園シンフォニーに乗りました。まさか自分が１万人目だとは思わなかったので驚きました。旅の良い思い出になりました」と話していました。

元気な声、園内に響く
湯前保育園入園式

元気に飛び跳ねる園児たち

湯前保育園（東理絵園長）の入園式が４月１日に同園で開かれ、園児の元気な声が園内に響き渡っていました。

音楽と保護者の拍手に迎えられて園児が入場。14人の年長児はベージュのセーラースモックに身を包んでいました。東園長は「みんな一つずつ学年が上がって頼もしくなりました。広い園庭にブランコや砂場。明日からワクワクの気持ちで保育園に来て、たくさん遊んでください。私たちもワクワクしています」とあいさつしました。

新しく９人の園児が湯前保育園に入園し、今年度は76人でスタート。年長児は担任の保育士から名前を呼ばれると元気に手を挙げ、「はい！」と大きな声で返事をしました。0,1歳の小さな園児が保護者に抱きかかえられながら、保育士から名前を呼ばれるかわいらしい場面もありました。

園児は「入園のうた」で手や体を動かしながら歌っていて、園内には園児の元気な声が響いていました。

最新の「ものづくり」を体験
ファブラボinゆのまえ

3Dプリンターの使い方を説明する豊住さん

ファブラボinゆのまえは３月28、29日にふれあい交流センター「湯～とぴあ」であり、小学生とその保護者18人が、オリジナルステッカー作りや3Dプリンターの見学でものづくりを楽しんでいました。

町の子どもたちに情報通信技術を使ったものづくりを体験してほしいと取り組まれ、町ICT（情報通信技術）利活用推進協議会が主催。ファブラボはほぼ何でも作ることができる工房のことで、大分県にある「ファブラボ大分」の豊住大輔さんを講師に、子どもたちは機械を使ってものづくりを体験しました。

豊住さんがコピーをしたものと同じ立体を作ることができる3Dプリンターを使い、参加者の模型を作ると「すごい！」と子どもも保護者も驚いていました。オリジナルステッカー作りでは、参加者がパソコンで自分の名前や飛行機や星など好きな形を描いて、自分だけのオリジナルステッカーを作っていました。

平成27年度新規採用職員

私たち、町のために頑張ります!!

税務町民課 滝上（たきがみ） 紘史（ひろし）　教育課 藤崎（ふじさき） 正人（まさと）　建設水道課 溝下（みぞした） 寛明（ひろあき）　産業振興課 沖松（おきまつ） 泰豪（たいごう）　総務課 蔵座（ぞうざ） 祐平（ゆうへい）

新規採用職員の抱負

「イベントなどで、町の皆さんと関わることが多いので、ともに協力しながら湯前を盛り上げていきたいと思います！頑張ります!!」

産業振興課観光推進係兼商工振興係主事
沖松　泰豪
（19＝下染田）

「湯前に育てられ、離れて、また戻ることができました。町のために少しでも早く仕事を覚えて恩返しできるように明るく、元気よく毎日頑張ります！」

建設水道課管理係主事
溝下　寛明
（20＝野中田2）

NEW FACE YUNOMAE TOWN

「社会人１年目で不安もありますが、早く仕事に慣れて、湯前町や町民の皆さんの生活に貢献できるよう精一杯頑張ります！」

総務課総務係兼管財防災係主事
蔵座　祐平
（19＝上里1）

「まだまだ分からないことが多いので、１日でも早く仕事を覚え、責任感を持って仕事に取り組んでいきます。皆さんのお役に立てるよう頑張ります」

税務町民課固定資産税係兼町民税係兼会計室会計係主事
滝上　紘史
（30＝下城）

「長い時間守られてきたたくさんの貴重な文化財と、現代を象徴する文化の『マンガ』。その両方を持つ、全国でも珍しい湯前の情報を広く町内外に発信していきます」

教育課社会教育係兼社会体育係主事
藤崎　正人
（33＝野中田3）

町職員異動

※（　）内は前所属

【退　職】（3月31日付）

○右田　敏彦（教育課長）
○永濵　みどり（税務町民課主幹）
○中村　香代（税務町民課主事）

【職員異動】（4月1日付）

課長

○教育課長（会計管理者）　堤田　秋男
○会計管理者（税務町民課主幹）　皆越　克己

主幹

○教育課主幹兼学校給食共同調理場長（保健福祉課環境衛生係長）　柳田　和子
○税務町民課主幹町民係兼保険医療係（学校給食共同調理場長）　堤田　真由美
○総務課主幹企画振興係（議会事務局主幹）　西村　洋一

係長

○産業振興課農業振興係長（産業振興課農林整備係長）　中園　誠二
○産業振興課農林整備係長（産業振興課地域再生戦略係長）　稲森　一彦
○保健福祉課環境衛生係長（教育課社会教育係長）　兼田　奈緒美
○総務課企画振興係長（産業振興課観光推進兼商工振興係長）　本山　りか
○産業振興課地域再生戦略係長（産業振興課農業振興係長）　赤池　昌信
○教育課社会教育係長（教育課学校教育係参事）　吉田　真紀
○保健福祉課保健福祉係長（保健福祉課保健福祉係参事）　赤池　寛子
○税務町民課町民係長（税務町民課町民係兼保険医療係参事）　佐藤由美子
○総務課財政係長兼消防副主任（税務町民課町民税兼固定資産税参事）　黒木　博行
○議会事務局係長（総務課総務係兼企画財政係参事兼消防副主任）　佐藤　大
○税務町民課町民税係長（建設水道課管理係兼水道係参事）　植木　圭一郎
○産業振興課観光推進係兼商工振興係長（産業振興課観光推進係兼商工観光係参事）　岩野　浩平

参事

○教育課学校教育係参事（湯前町社会福祉協議会出向）　栗原　利香
○保健福祉課保健福祉係参事（湯前町社会福祉協議会出向）　山崎　祥子
○税務町民課保険医療係兼町民係参事（産業振興課商工振興係兼観光推進係参事）　藤本　尚

主事

○産業振興課商工振興係兼観光推進係主事（熊本県福岡事務所出向）　西　公文
○総務課企画振興係兼財政係主事（総務課総務係兼情報統計係主事）　勘米良　康隆
○総務課総務係兼財政係主事（総務課総務係兼企画財政係主事）　姫野　宏太
○保健福祉課介護保険係主事（保健福祉課保健福祉係兼介護保険係主事）　豊後　真由

教職員異動

【転入】

湯前小学校
中西（なかにし）　万里（まり） 教諭
※和水町立菊水南小から

　14年ぶりに人吉球磨に帰ってきました。出身はあさぎり町の岡原です。美しい自然に心癒される温泉、温かい人たちや花いっぱいできれいに整えられた学校、元気いっぱいの子どもたち……素敵なこの湯前の地で働くことができることをうれしく思っています。一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。

湯前小学校
境目（さかいめ）　貴秀（たかひで） 教諭
※錦町立錦中から

　初任校が自然豊かな湯前小ということで、とてもうれしく思っています。中学校での経験が長く、少し不安もありましたが、素直でかわいらしい湯前っ子のみんなと出会い、心が癒されました。子どもたちに負けないくらいの元気で頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

湯前小学校
野口（のぐち）　智恵（ともえ） 支援員

　元気いっぱいの子どもたちから、毎日大きな声であいさつをもらい、1日の元気をもらっています。子どもたちが楽しく元気に学校での生活を送れるよう、サポートし、必要な手助けをしてあげられるよう頑張っていきます。よろしくお願いします。

湯前中学校
岡田（おかだ）　愛美（あいみ） 教諭
※相良村立相良中から

　2年前に結婚を機に転居してきました。それまでは鹿児島の焼酎会社で広報と企画の仕事をしていましたので、教職員としては新人ですが、元気の良い生徒たちとあたたかい職場環境に恵まれ、やりがいを感じています。湯前の伝統芸能や歴史的文化財にも目を向けて、生徒たちの力を伸ばせるよう取り組みたいと思います。

【転出】

＜湯前小学校＞
山口　智弘教諭　※山江村立山田小へ
久保田　佳子支援員　※退職
浅生　一美支援員　※退職

＜湯前中学校＞
河野　俊弘教諭　※多良木町立多良木中へ
鶴本　百合子教諭　※多良木町立多良木中へ
松本　康子相談員　※退職

湯前小学校
溝下（みぞした）　範子（のりこ） 支援員

　湯前小から住まいが近く、なるべく自転車で通うようにしています。明るく、元気いっぱいの湯前小の子どもたち。子どもたちとの出会いを大切に、しっかりとサポートしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

湯前小学校
田山（たやま）　亜季子（あきこ） 支援員

　湯前小の支援員として勤務させていただきます。まだまだ、分からないことも多く、周りの人よりテンポが遅れることがありますが、子どもたちのために精一杯お手伝いさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

湯前中学校
石原（いしはら）　聡子（さとこ） 教諭
※あさぎり町立あさぎり中から

　研究会で湯前中に初めて来校したとき、生徒の雰囲気や学校の環境を見させていただき、「良いところだなあ」と思っていました。着任することができて本当にうれしく思います。実際に接する生徒たちは素朴でありながら、人懐こくて礼儀正しく、毎日の授業が楽しみです。これからどうぞよろしくお願いします。

5月は集団健診の季節です

保健師だより

はたち（二十歳）で成人 よそじ（四十路）で健診

40歳は「特定健診」デビューの年です!!

「自分の体は自分が一番分かっている」？　「まだ若いから大丈夫」
「病院に通院しているから健診は受けなくても…」

本当にそうなのでしょうか？？

特定健診

問診、身体計測（身長・体重・BMI・腹囲）、尿検査（尿糖・尿蛋白・尿潜血）、診察（既往歴、自覚症状の有無等）、血中脂質検査（TG・HDLc・LDLc）、肝機能検査（GOT・GPT・γ－GTP）、糖代謝検査（空腹時血糖・HbA1c）、血圧、貧血検査（ヘマトクリット・血色素・赤血球）、心電図検査、腎機能検査（血清クレアチニン・血清尿酸）

〈若いころから特定健診の受診をオススメする理由〉

自分の体を知るチャンス！

同じ生活をしていても、体の変化は人それぞれです。特定健診ではこれだけたくさんの項目を含んでいるので、結果を見ながら、自分の体にはどんな変化が起きやすいのかが分かります。
（通院中の人も、年に１回の特定健診受診をオススメしています）

心がけポイントのヒントを得る!!

早期発見のためではなく、病気の発症や重症化を「予防」するために受ける時代です。
まだまだ若いうちから、小さな変化に気づき小さな心がけを始めることで、いつまでも今の生活を続けていくことができる体づくりを始めましょう。

特定健診はどこで受けられますか？

湯前町では集団健診と総合健診があります。

①集団健診　５月に保健センターで行います。今年度、どこかで特定健診を受ける予定がない人は急いでご連絡ください!!

②総合健診　申し込みは２月ごろです。（平成27年度分は終了しています）

※いずれも、社会保険に加入している人は「受診券」が必要です。

★今回は特定健診をご紹介しましたが、各種がん検診も大切です。
（20代や30代に多いがんもあります）
★健診のお問い合せは、お気軽に保健センター保健師へご連絡ください。℡43－4112

湯前町保健センター
保健師　今田　亜紀

戸籍の窓

平成27年３月１日～平成27年３月31日届出分

（敬称略）

ご結婚おめでとう

氏　名	地区名
林　翔平	（大阪府）
右田　奈生	（浅鹿野）

ご冥福をお祈りします

氏　名	地区名
多良木　ハツ	（上　村）
加藤　良一	（下　村）
藤田　賢子	（上　村）

香典返し

氏　名	地区名
多良木　秀幸	（上　村）
加藤　仁士	（下　村）
椎葉　宗男	（愛知県）

湯前町青年団です

yunomae seinendan

湯前町青年団 団長
瀧森　道太

No.1

平成27年度団長
瀧森　道太

「私は湯前町が大好きです。湯前が好きな若者が集まり、活気あふれる町を目指して真剣に頑張れる団体。そんな青年団にしたいと思います。ことしもよろしくお願いします！」

今年度も頑張ります！ 青年団一同

役員紹介

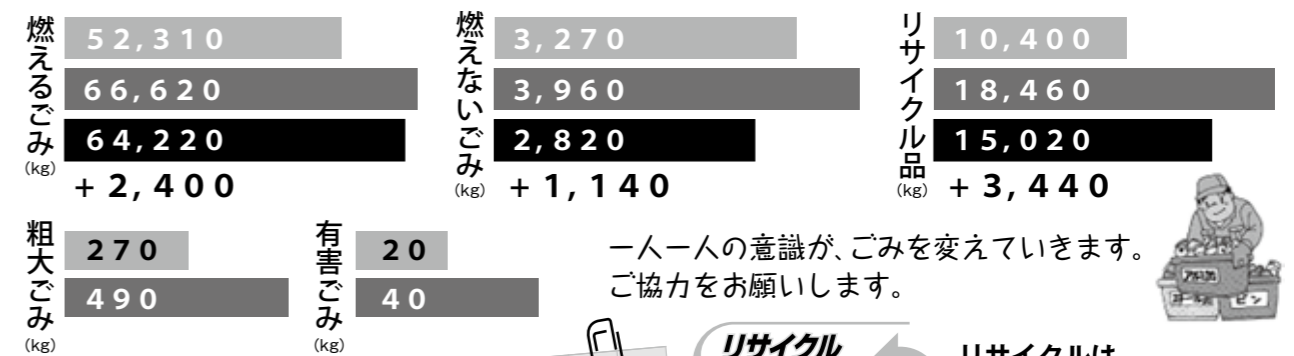
役職	氏名	地区
副団長	渕上　駿	植木
〃	坂口　真紀子	下里
会　計	右田　千晴	下村
企画部長	橋本　康平	上里２
社会産業部長	左座　可奈子	野中田２
文化部長	工藤　正明	中里２
体育部長	椎葉　直斗	田上
広報部長	姫野　宏太	中里２
監　事	豊永　康平	上村
〃	右田　恭平	浅鹿野
事務局／球青協常任理事	神瀬　章太	野中田２

今後の予定

５月５日　新入団員歓迎会
５月11日～　活動資金作り
（大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします）
５月30日　山江村青年団との交流会
６月　球青協体育祭

4月のごみ情報

３月末人口　4,179人

種類	先月分	今月分	昨年の３月分	増減
燃えるごみ(kg)	52,310	66,620	64,220	＋2,400
燃えないごみ(kg)	3,270	3,960	2,820	＋1,140
リサイクル品(kg)	10,400	18,460	15,020	＋3,440
粗大ごみ(kg)	270	490		
有害ごみ(kg)	20	40		

一人一人の意識が、ごみを変えていきます。
ご協力をお願いします。

ゴールデンウィークは片付けるチャンスです！

気候も暖かくなり、そろそろ薄手のものを……と衣替えをしようと思っている人も多いのではないでしょうか？
５月にはすぐ大型連休です。この機会に、たまった新聞紙・古雑誌・空き缶・空き瓶など、まとめて全部リサイクルしませんか？
リサイクルステーションは年中開いています。きちんと分別し、缶や瓶は洗って、決まった場所に出しましょう。

リサイクルは、「きれいなもの」が基本です。

汚い物、不燃物は持ち込まないよう、きちんと分別をお願いします！

✕洗っていない
中味が入っているビン類、スチール缶などがアルミ缶のところに入っている

✕分別していない
紙製容器包装の所に瓶類、プラスチック製の容器が入っている

スプレー缶・ガスボンベ缶は必ず使い切り、穴を空けてください！重大な事故につながります。

※５月の不燃物収集は **20日（水）** です。（第３水曜日）
※５月４日（月）祭日は、ハッピーマンデーで通常どおり収集します。

広報 ゆのまえ 2015 5月号 No.407

人吉球磨が「日本遺産」に認定

日本遺産をまちづくりに生かすと話した鶴田町長(右)

湯前の歴史文化財も多数

文化庁は4月24日、今年度から始まった「日本遺産」に人吉球磨10市町村が申請した「相良700年が生んだ保守と進取の文化～日本でもっとも豊かな隠れ里－人吉球磨～」が認定されました。

日本遺産は地域の歴史･文化の魅力を日本の遺産として認定することで、地域の有形･無形文化財を国内外に発信して、活性化につなげるための取り組みです。認定されると国から情報発信や文化財を整備するための支援が受けられます。

全国で18件が認定され、九州では福岡県太宰府市、長崎県、大分県日田市が認定されています。県内では第1号の認定で、10市町村でつくる球磨地域文化財広域連携協議会が中心になって、ストーリーを作り、3月23日に申請していました。

認定されたストーリーでは「700年の長い間で領主と民衆がつくりあげた文化を守り、独自の進化をしてきた地域。保守と進取の思いから昇華された文化を見られる地域はほかにはない」と説明されています。本町では城泉寺阿弥陀堂や八勝寺阿弥陀堂など16件がストーリーに組み込まれています。

正午から人吉市役所で会見した鶴田正已町長は「認定を受けて、とてもうれしく思っている。人吉球磨はお米でお酒が造れる豊かな地域。地域の子どもたちの伝統芸能の活動など、地域全体で文化を受け継ぐ流れができてきている。10市町村で連携し、日本遺産を生かしながら人吉球磨をPRしていきたい」と話していました。

ストーリーに組み込まれた城泉寺

編集あとがき

▼相良700年の長い歴史と文化が日本遺産に認定されました。人吉球磨は熊本県内の約8割の文化財が残る宝庫です。湯前にも県内最古の木造建築物の城泉寺などがあります。同じ時期に漫画家の皆川先生による展示会やサイン会が開かれました。遠くからファンが駆け付け、皆川先生との対面に、あふれんばかりの笑顔を振りまいていました。

歴史遺産と漫画文化。湯前の文化は他の地域から見ると、とてもおもしろいものです。4月はあらためて湯前の魅力を知りました。一人一人が町の魅力を感じて、周りの人へ伝えていくことが、湯前のまちづくりにつながるのではないでしょうか。

▼新しい季節がやってきて早1カ月。私も湯前に帰ってきてから3年が経ちました。球磨弁も板についてきた(?)ような気がします。もう一つ変わったもの、それはお腹周りの…。(宏)

ご意見・投稿はこちらから

発行/湯前町役場総務課
〒868-0621 熊本県球磨郡湯前町1989-1
TEL 0966-43-4111 FAX 0966-43-3013
ホームページ http://www.town.yunomae.lg.jp/
E-mail kouhou@town.yunomae.lg.jp
発行日/平成27年5月1日 印刷/(有)ソーゴーグラフィックス